

かわらONE通信

季刊誌 (年度4回発行)

発行責任者 : 宮長定男

発行日 : 平成28年11月1日

発行元 日本認知症グループホーム協会 東京都支部
連絡先 〒171-0014 豊島区池袋3-59-4 (社) 泉湧く家気付 TEL : 03-5911-1264 FAX : 03-5911-1268

山口晴保氏、群馬大学大学院教授から 認知症介護研究・研修東京センター長に就任

山口先生は、当協会機関誌「ゆったり」に連載いただいているほか、去る6月3日の協会主催の「認知症全国フォーラム」で講演頂きました。また、東京都支部主催の研修会でご指導いただいています。山口先生から東京のGH関係者へのご挨拶を頂きましたので紹介します。

認知症介護研究・研修東京センター センター長に就任して 山口 晴保 「褒められて 笑顔で生きる 認知症」

10月から認知症介護研究・研修東京センターのセンター長に就任した山口晴保です。

一般の方に講演するときは、認知笑亭難題という芸名で、認知症という難題を楽しく笑って理解していただきます。認知症になっても楽しく生きられること(日頃から伴侶を大切にしていればの話ですが…)、本人と家族が笑顔で生活できるように支える医療・ケア等を伝えます。

アルツハイマー型認知症がどのように発症するのか、たくさんの脳で病理研究を30年間継続。その一方で、群馬大学神経内科で脳の症状を診る力を養い、さらにリハビリテーション医として生活力を診る力を養い、はたまた特別養護老人ホームの嘱託医として、30年以上認知症医療にも携わった。認知症では、①楽しく、②会話し、③役割を持ってもらい、④褒め合い、⑤失敗を防ぐように支援するという、脳活性化リハ5原則も提唱してきました。これは認知症ケアの極意でもあります。

認知症予防研究にも取り組んだのですが、運動が一番効果的。とはいってもジムに行く必要はありません。洗濯機を捨てて、タライで手洗いが良いのです。筋トレになり腕力アップ、省エネルギーで、達成感も抜群、そして認知症予防にも。落語家の話を信じちゃいけません、これはホントです。

惚けてなほ 笑顔で振りまく「ありがとう」 慈愛に満ちた菩薩の姿

私は、認知症になってもハッピーな人をたくさん診てきました。幸・不幸は認知症かどうかで決まるわけではありません。認知症は長生きした人の勲章です。認知症になっても笑顔で家族や仲間と楽しく生活できる。そんなケアを推進する認知症介護研究・研修東京センターでありたいと思います。

東京の認知症グループホーム関係の皆様、ご支援とご協力を宜しくお願いします。



「重度化と看取り～GHでどう支えるか」

11月22日 新宿文化センター 石飛幸三先生を迎えて研修会

第1部は「GHにおいて、利用者の重度化と看取りをどのように支えていくか」～尊厳ある暮らしと安らかなる最後を目指して～お話をいただき、第2部では、虐待の実態や虐待につながる不適切なケアについて、第1線で活躍するお二人からの講義を受けていただきます。詳しくは、この広報紙に同封したチラシをご覧ください。

これからも人とのつながりに色がついていくよう

あたたかい出会いを大切に

永生会は日本認知症グループホーム協会を応援しています。

医療法人社団 永生会 グループホーム 寿限無 <http://www.eisei.or.jp>



「地域で暮らしている」を感じてもらえるグループホームに



GH神楽坂 《札幌のGH大会に参加、発表を終えて》

三篠会のGH神楽坂から「思いを汲んでどこまでも～QOL向上の取り組み」の演題を発表してくれた中村さんと原島さんを、新宿区神楽坂にお訪ねして話を伺いました。素敵なお店の並ぶ「神楽坂」の坂上にある複合施設の中にあるGHです。

「発表を待つ間、ユニフォーム姿が目立つのを視線で感じていました。仕事中はユニホームで入居者さんに接していますので、その姿で発表しました」と。

「今回の発表準備の段階で、日頃は会話の余りなかった同僚も積極的に協力してくれ、入居者さん理解の共有と職員間の団結が強くなりました」と話すお二人。

洒落たユニフォームは「福祉・介護のイメージを変えようと導入しました」と施設長さんの説明です。

発表演題の取組みから2年、「この間の取組みで入居者さんも職員も変わっているので、職員のアイデアを取り入れてさらに実践してもう一度発表したい」など話は広がりました。今回の発表は、利用者の生活歴から湧いてきた「本当の思い」を生かした行動的な生活で、QOLを高める取り組みを実践した内容でした。

大会では、綾戸さん(講演されたジャズシンガーの綾戸智恵さん)の「家族の気持ちになって」というお話しから、職員としてどこまで「家族の気持ち」に近づけるかを学び考えさせられました。また「分科会を選んでよかった。特にユマニチュードの実践は、私たちももっと深めたいとおもった」と大会の感想を語ってくれました。(大畑記)

安城市(愛知)の虐待で行政処分～協会としても調査・検証！ 《再発防止に、GH協会全体の取り組み強化を》

愛知県安城市のグループホーム「野のユリ」で、心理的、身体的虐待があり、同市から新規受入停止、介護報酬請求上限8割減額6か月の処分がありました。

GH協会の会員であることから、当協会は役員2名を現地に派遣、市と「野のゆり」から事情を聴くなどの現地調査を行いました。今回の事例は、元職員の内部通報により発覚、市役所の事情聴取と調査が行われ、行政処分となったものです。

この背景には、職員の採用難とそれに伴う業務の負荷を経営者の家族が担う中で、精神的にも追い詰められた状態を抱えながら勤務していたという実態があり

ました。

こうした深刻な人材不足、家族経営での内部統制の難しさなど、解決しなければならない課題も明らかになりました。

今年4月、GH協会は「認知症高齢者虐待防止宣言」を発表、虐待防止の先頭に立つ決意を示してきました。今回の事例は、研修や職員のカウンセリングを伴う個別面談、内部のチェック機能等を活かしながら高い倫理基準を遵守して、虐待が再発しないように啓発し続けなければならないことを示しています。(宮川公一記)

第5回 協会関東甲信越ブロック実践発表会 開催します

「グループホームは地域のより所」地域に頼られ、支えられる安心のホームに！

《 2017年2月17日(金) 東洋大学 白山キャンパスで開催 》

今年の実践発表会は、特別講演に「東京防災救急協会」理事長の新井雄治氏をお招きし「地域での防災ネットワークを構築する」事などをテーマにお話しいたします。新井氏は、3.11東日本大震災の発生した時の東京

消防庁の消防総監で、福島原発のレスキュー隊派遣を決断して指揮した方です。

緊迫したなかでの支援活動から、日ごろの備えをどのようにすべきかを学んでいただきます。

東京厚生信用組合

- ◎ 福祉・医療・環境衛生・地域の金融機関です。
- ◎ グループホーム・サ高住向け融資商品取り扱っております。その他事業性融資・預金等お気軽にご相談ください。

お問い合わせはこちらまで

0120-294-805